

半沢一宣様

この度は、ご意見を頂き、ありがとうございました。

お問い合わせの件について、以下のとおりご回答申し上げます。

1. 過去に発生していた「事故にならなかった事故」の報告の有無等について

Q1;東武鉄道は過去に「事故にならなかった事故」について、報告はあったか。

A1;鉄道事故等報告規則の対象外であり、実際に報告はありませんでした。

2. 踏切保安係の人的ミスバックアップする装置の必要性及びその是非について

Q1;東武鉄道に対し、踏切保安係の人的ミスバックアップするシステムの整備を、指導していたことがあるか。

A1;ございません。

Q2;半沢様が提案した「踏切保安係の人的ミスバックアップする保安装置」を整備する必要性及びその是非について

A2;駅の近傍にある踏切においては、ご指摘のような位置にATSを設置して踏切保安装置と連動させた場合、列車の種類によっては駅の手前で不用に停止することになるなど、現実的ではない面があり、また、今回の事故のように列車接近中に遮断機を上げてしまった場合には、必ずしも踏切の手前に止まれることにはなりません。

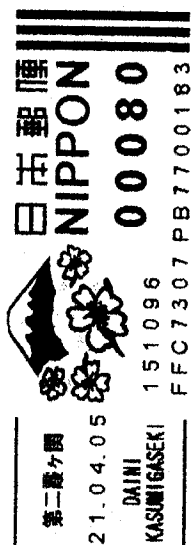
また、今回の事故が発生した踏切では、列車接近中は遮断機が自動的にロックされるようになっておりましたが、これを解除するボタンを押してしまったため、事故が発生したものと見られており、これ以上のバックアップシステムを装備するのであれば、踏切を完全自動化する方が安全と考えられます。

東武鉄道では、こうした問題に対応するため、当面、踏切保安要員を2名体制から4名体制として、個人の判断によるミスを防止する対応を執っておりますが、抜本的な解決のためには「開かずの踏切」を立体交差化等により踏切を無くすことが肝要と考えており、国土交通省としても関係部局と連携し、鉄道事業者とともにその実現に向けて努力して参りますので、引き続き、ご理解を頂きますようお願い申し上げます。

平成17年4月21日

国土交通省 技術企画課 安全対策室

国土交通省 施設課



第二種郵便

21.04.05

DAINI

KASUMIGASEKI

151096

FFC7307PB7700183



〒 [Redacted]

東京都足立区 [Redacted]

半 沢 一 宣 様



人が動く、国土が躍動する。

国土交通省

〒100-8918 東京都千代田区霞ヶ関2丁目1番3号

電話 03-5253-8111 内線 40772、40862

H.P. <http://www.mlit.go.jp>

この封筒は再生紙を使用しています。

三島
村田